



平成29年7月31日

各 位

会社名 株式会社 ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号：9612 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎
(TEL：03-3377-9331 (代表))

第2四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成29年2月14日に公表いたしました平成29年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想(平成29年1月1日～平成29年6月30日)と本日公表の同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期 第2四半期(累計) 連結業績予想数値と実績値との差異 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,500	百万円 354	百万円 373	百万円 170	円 銭 22.21
実 績 値 (B)	12,134	77	118	57	7.64
増 減 額 (B-A)	△5,365	△277	△255	△112	△14.57
増 減 率 (%)	△30.7	△78.2	△68.4	△65.9	△65.6
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	16,506	333	307	165	21.02

2. 差異の理由

昨年前半までの国内景気の減速の影響等で、企業は設備投資に慎重になっていたことから、当社グループの今年度の受注状況が下期偏重型になることは当初から見込んでおりました。当第2四半期は、そのような逆風の環境下においても、中・小規模案件の地道な積み重ね、攻めのメンテナンスサービスや省エネ事業の拡大などにより、計画どおり順調に進んでおりました。しかしながら、6月内に引き渡し予定であった数件の大型案件が着工時期の後ずれにより当第3四半期以降の引き渡しとなったこと、及び、当第4四半期に引渡し予定の大型案件を計画外で受注することができましたが、当該案件の受注活動に人員等を集約させるため、6月内に着工・引渡予定の小型案件の受注を控えさせていただいたことから、当第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、平成29年12月期の通期業績予想につきましては、上述のとおり、当第2四半期の業績の下振れが通期業績予想に影響を及ぼす内容ではないこと、また、昨年後半以降の景気持ち直しと企業収益及び設備投資意欲の回復も顕著であることから、計画どおり進んでおりますので、前回発表の業績予想を据え置いております。

今後、現時点では予想不能な事態の発生により業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上